

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 07 市民に信頼される会計事務の実現

主管課長職・氏名	会計課長 勝田 裕征
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		市民の皆様からお預かりしている公金の管理及び運用は、市民の信頼に直結するものです。公金管理に対する認識を全職員で共有し、併せて会計事務の知識を高めることで、適正かつ迅速な予算執行をめざします。また、公金の安全で効率的な資金運用に努めます。						
--	--	---	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 伝票返却率 単位 %	9.9	8.25	8	7.75	6	6	-
			9.46	5.83	0	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	-
			65.4	62.6	0	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06070100 適切な会計処理と確実な資金の運用 伝票返却率 単位 %	9.9	8.25	8	7.75	6	6	-
			9.46	5.83	0	-	-	0.0
	単位							
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：07 市民に信頼される会計事務の実現

主管課長職・氏名	会計課長 勝田 裕征
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

- ・大量退職・採用による職員の入れ替えがあり、会計事務の継承に課題が生じているため、研修会等を通じて、会計事務の知識を高める必要があります。
- ・国からの補助金や交付金が減少し、財政調整基金の積立金額も少ないなど財政状況は厳しく、資金運用が厳しくなっています。公金の安全で効率的な資金運用のため、公金管理に対する認識を全職員で共有し、収支の均衡を的確に捉えることが重要になっています。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・マイナス金利政策による金融機関の経営悪化、低金利時代、マネーの多様化など、社会経済情勢は目まぐるしく変化しています。地方自治体の行財政運営にもすでに影響が出てきていますので、先を見据えた対応が求められています。

(3) 政策との関連性

適正な公金の管理及び運用を行うことにより、行財政経営が持続可能なものになると考えます。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・収支の均衡を的確に捉え、効果的な公金の管理及び運用に努めます。
- ・財務規則等に基づく適正な審査と迅速な支払に努めます。
- ・公金管理に対する認識と会計事務の知識を全庁で高めるため、研修会や日常的な事務指導を実施します。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題

適正な会計事務を維持します。そのため、伝票返却事由を分析し、課題の把握、検討を継続して行いますが、会計事務のチェック項目を重点とした研修会や日常的な事務指導を実施します。また、部署ごとの伝票返却率を分析し、改善がみられない部署に対し、個別指導研修を実施します。

(3) 基本計画期間及び令和 4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

収納、支払事務は継続が必須であるため、適正な会計事務の維持が最重要となります。

